

『アスベスト 広がる被害』

著者：大島秀利（毎日新聞編集委員）

かつて“奇跡の鉱物”といわれ、建材や工業製品に使われてきたアスベスト。その微細な繊維を吸い込んだことによる健康被害は、とどまることを知らずに広がっている。身近に潜む危険、被害者の声、取るべき対策まで、その全貌を明らかにする。

クボタショックから6年 風化させてはならない

●目次

はじめに一なせ今、アスベスト問題なのか

第1章 アスベストとは

第2章 公害の“発見”と、その衝撃

第3章 政府の情報隠し

第4章 広がるアスベスト禍

第5章 生活の中の危険

第6章 世界のアスベスト問題

終章 これからどう向き合うべきか

●著者紹介

大島秀利（おおしま・ひでとし）1962年、埼玉県生まれ。86年、早稲田大学法学部卒、毎日新聞入社。高知支局、大津支局、福井支局（敦賀駐在）、科学部、社会部、特報部などを経て、現在、大阪本社編集局編集委員。アスベスト報道で2006年科学ジャーナリスト賞、2008年新聞協会賞を受賞。

- * お近くの書店でご予約・お買い求めください
- * 小社へ直接お問い合わせ、ご注文の場合は岩波書店〈ブックオーダー〉係 電話 049-287-5721（月曜から金曜営業、但し祝日・社休日を除く）

